

豚舎新設工事に伴う防疫対応（平成29年の事例）

宮崎牧場のSPF豚舎東南側に、新たに検定豚舎の新設工事を実施した際の事例をご紹介します。豚舎工事に際しては、外部から多くの工事車両、工事従事者、物品が入場し平常時に比べ疾病侵入のリスクが高まることから、疾病侵入を防止するため以下の防疫対策を実施しました。

- 1 工事従事者及び工事用車両と豚舎勤務職員との接触を防止。
 - ・工事エリアとSPFエリアを仮囲いフェンスで明確に分離（図1）。
 - ・工事従事者及び工事用車両の進入道路を別途設置し、豚舎勤務職員と入場ルートを分離（図2）。
- 2 工事従事者は入場時に来場者記録票により防疫事項を確認。
場内では専用の防疫衣及び長靴を着用。
- 3 工事用車両は入場時に職員が動力噴霧器で消毒。
- 4 工事エリアに持ち込む物品は消毒の上、持ち込み。
（ビルコン、アルコール、ハイペロックス）

図1 工事エリアの設定及び工事用道路の設置

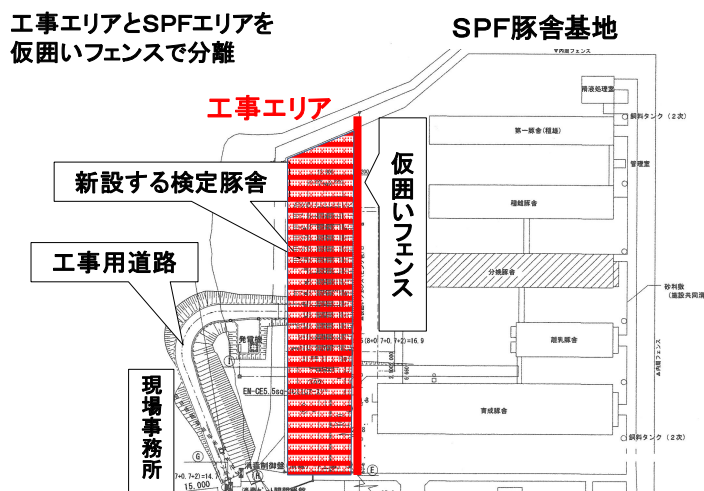


図2 工事用車両と豚舎勤務者の入場ルートの分離

